

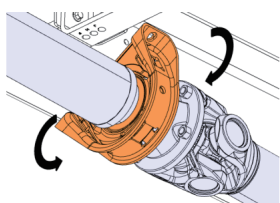
## Quon 2010年～2023年モデル センターベアリングガタ点検方法例のご案内

センターベアリングの点検を怠ると、走行中の異音や振動だけでなく、プロペラシャフトの脱落など重大故障や事故につながる恐れがあります。

12か月点検項目になっているセンターベアリングのガタ点検について、より確実にガタを検出できるよう、従来とは異なるガタ点検方法を作成致しましたので展開致します。ご活用頂き、ガタがある部品につきましては、交換対応頂きたく、宜しくお願い致します。

### 1 点検実施方法

センターベアリングホルダの固定を外し、ホルダを回転させてガタ点検を実施する。

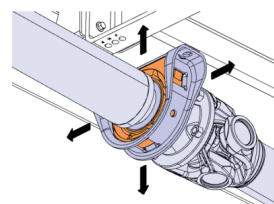


下方向に力をかけながらホルダを回転させて、スムーズに回転すること、ガタ、ゴロ感がないことを確認する。

**スムーズに回転しない、ガタ・ゴロ感がある場合は、交換を実施**

センターベアリングのラバークッションの損傷およびガタの点検も合わせて実施する。

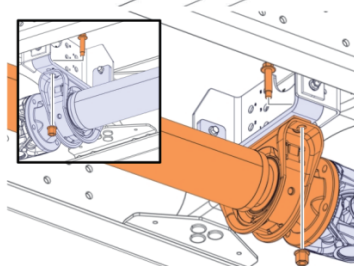
- ラバーにすれ、亀裂がないことを確認
- ホルダを上下左右に動かし、ガタがないことを確認



### 2 注意点

ホルダを回転させるために、プロペラシャフトの下にジャッキ等を配置し、回転させることができる位置までホルダを下げる。

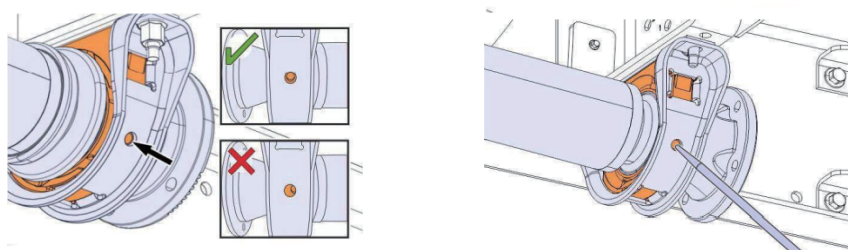
必要以上に下げ、フランジヨークがロックしないように注意する。



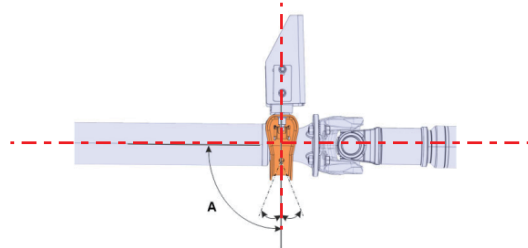
**点検後のホルダ組付け時、ナットのトルク締めを実施**

ホルダ組付け後、ラバークッションの位置が正しいことを確認する。

※正しく着座していない場合は、ラバークッションの位置を調整する。

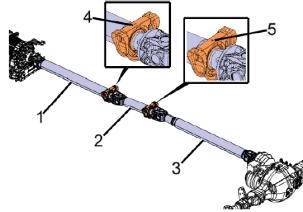


ホルダ組付け時、プロペラシャフトと垂直になるように組み付ける。



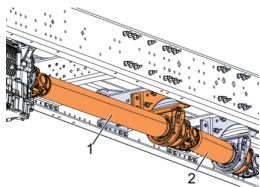
**3 センターベアリングが2個付き仕様の場合、下記順序で点検を実施する。**

(点検方法・注意点は、上述と同様。)

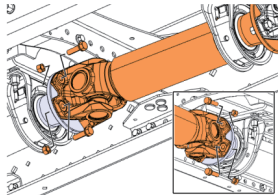


名 称	
1)	ファーストプロペラシャフト
2)	セカンドプロペラシャフト
3)	メインプロペラシャフト
4)	ファーストセンターベアリング
5)	セカンドセンターベアリング

- ① 5) セカンドセンターベアリング の取り外しおよび点検
- ② 5) セカンドセンターベアリング の仮取り付け
- ③ 1) ファーストプロペラシャフト と 2) セカンドプロペラシャフト 接続の取り外し

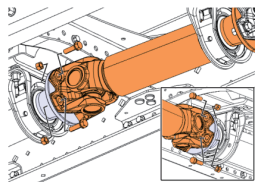


- 1) ファーストプロペラシャフト の下にジャッキを配置する。
- 2) セカンドプロペラシャフト をチェーンで固定する。



- 1) ファーストプロペラシャフト と 2) セカンドプロペラシャフト 締結のスクリューとナットを取り外し、接続を取り外す。

- ④ 4) ファーストセンターベアリング の取り外しおよび点検
- ⑤ 4) ファーストセンターベアリング の取り付け
- ⑥ 1) ファーストプロペラシャフト と 2) セカンドプロペラシャフト 接続の取り付け



スクリューのトルク締めを実施する。

- ⑦ 5) セカンドセンターベアリング の取り付け

車両によりセンターベアリングの仕様が異なります。  
締め付けトルク等、ご不明な点がございましたら、最寄りの販売会社へお問合せください。

**おことわり**

メンテナンスにおいて、UDトラックが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証・補償の対象になりませんのでご注意ください。